

# 〇〇さんの、そこが知りたい!

河野謙



記念すべき第一回目のインタビューは、2017年5月より飯山で「**ぽっぽ動物病院**」を経営されている、**松川恵先生**です!【インタビューは1/18、「西乃茶や」にて】

僕:「松川先生、改めまして今年もよろしくお願ひします。きょう僕もインタビュアー、デビュー戦なのでお手柔らかにお願いいたします。」

松川先生(以下、松D):「ふふふ。よろしくお願ひします。」

◆僕:「まず、先生は神奈川県秦野市からやって来られたということなんですが、どんなきっかけで野沢(ご自宅は野沢温泉東大滝。)に来られたんですか?」

松D:「えっと、元々母の生家が野沢にあって、小っちゃい頃から遊びに来ていて、実は大学の時の実習も飯山の教授(牛や豚)におじゃましていて。」

僕:「そうなんです。じゃあ、しょっちゅうこっちに来られていたんですね。」

松D:「はい。なので就職自体もこっちで検討していたぐらいなんです。開業医も夢ではあったんですけど。でもまあ初めは神奈川で勤務医をして…上の子も生まれて、このまま勤務医で骨を埋めようとも思っていたんですけど…そんな頃に母が患いまして。父も認知症という状況になりました。そしてそんな中、10年以上誰も住んでいなかった母の生家が売りに出されるという話になりました。そこで、『譲って!』と。私も思い入れがありましたし、母もこっちでのんびり出来たらなって。なのでどちらかという、どうしても開業したいという気持ちより、母のことがあって。という状況だったんです。だから、最初は往診専門でもいいかなって思っていました。」

僕:「そうですか。でもお互いにいいですね。僕のお客さまでもペットを飼っている方は、皆さん近くに動物病院が出来て助かるっておっしゃっています。あの先生明るいし、親身になってくれていいね~! って。先生はスキーも出来るし!(先生もお子さんもスキー大好き)」

松D:「でもね~、本当にこっちに来て開業するまでは、ニーズに合うかどうか、凄く不安でした。でもまあ、この性格だし(笑)何とかなるかなって。」

◆僕:「こっちに来てみて困ったことはありましたか? 雪がヤバイとか。」

松D:「雪はまあ当然として…あ、でも、遊びに来るのと住むのとは違った!(笑)」



仕事しながら、夜遅くに掻く(雪を)じゃないですか。で、深夜2時ぐらいにカラカラって(雪掻きの)音するじゃないですか。そうするともう…玄関開けて二度見ですよ。(笑)

あと、動物病院で医療なんですけど、本来サービス業なんですね。いかに患者さんが心配していることを引き出すとか、まずコミュニケーションが第一関門なんです。地域柄もあるので、どこまでどうしたいっていうのを聞かないとね。神奈川にいる頃、こっちに遊びに来てても話するのが、親戚とかじゃないですか。そして今、いざ仕事となると、まずまず『初めまして』からなので最初はもう、迷子ですよ(笑)」

僕:「なるほど。治療はもちろんのこと、その前の段階が大事なんですね。」

◆僕:「『**ぽっぽ動物病院**』ってどんな由来で付けられたんですか?」

松D:「すごい悩んでいたんです。名前。信頼の問題もあるし、カチカチの真面目な感じの方がいいのか?とか。もう、ありとあらゆる案を出したんですけど、どうもしっくりと来なくて…そんな時、息子が『汽車ぽっ



インタビューの日はたまたま先生の誕生日間近で、スタッフの皆さんがサプライズでケーキを用意されていました。皆さん仲良く笑いが絶えない！僕までごちそうさまでした。

◆僕:「じゃあ最後に。今後、こういうことにワクワクしている！というものがあれば教えてください。」

松D:「私、こっち(野沢)が大好きで来たんですけど、意外にこちらの若い人って、お話を聞くとそれを感じてない場合が多いみたいなんです。私、通勤は大変なんですけれど、毎日感動してますもん。景色が幻想的で毎日違うし、本当に綺麗だって！人の温かさだって本当にもう…こう…湧き上がってくるっていうか。でも、それが意外に活かされていないかな？というのも思うんです。

なので、動物がらみで言うと…お散歩の時とか、ウチの子自慢じゃないですけど、動物を通じてコミュニケーションの場がみたいなのがあったらいいなと思うんです。動物と家族、と言うのはもちろんのこと、もっと横の繋がりがあったらいいなって。それとか、動物の

ぽ』の歌を歌っていて、お！？『ぽぽぽ』って響きいいね～！と。ちょうど私が小さい頃、飯山線でおじいちゃん家(東大滝)に行ったりして…あれって汽車(気動車)じゃないですか。電車っていうと今でも怒られるし(笑) あと、母の思い出話で、『昔、冬はみんなで線路歩いて中学校行ったりしたんだよ。で、男の子が音(当時のSLの音)聞いて、来るぞ～！って言ったらみんなで雪の壁に上って避けていたんだよ』なんて話も聞いていました。」

僕:「なんか凄いいい、古き良き時代の絵ですね。スタンド・バイ・ミーみたい。」

松D:「それから私の弟が産まれる時、少しの間、東大滝のおじいちゃんの家で預けられていたんですね。その時も、その家から川の向こうを見ると、汽車が走っていたんですね。そんな思い出が自分でもあって。飯山線も1、2時間に1本だけれど、ちゃんと毎日ひたむきに頑張ってるし。なんかそういうのにも励まされるなと思って。本当に急にフツと(浮かびました)。」

僕:「いや～、素晴らしいです。本当に一番いいのが見つかりましたね。」



心配ごとを飼い主同士でお互い相談できたり、とかね。あと…動物と一緒にご飯食べられる所もなかなかこの辺にはないじゃないですか。ドッグカフェとまでは言わなくても、外にいるならワンちゃんも一緒に食べられるみたいな場所が神奈川には結構あるんですよ。だからこそ、そういった所を目掛けて動物好きの人が集まってくるんですよ。だからそういうのがあれば、もっと県外からも人が来て、地域も盛り上がると思うし。構想ばっかりあるんですよ。(笑) せっかく外から来たので、ちょっとずつそういうのを発信出来ればな、って思っています。」

(インタビュー終)

※先生の話が相当面白いので、インタビューは終始横道に逸れ、ここには書ききれなかった内容がほとんどです。しかし、特に伝わって来たのは、先生が小さい頃からの「野沢・飯山が大好き」という気持ちです。松川先生、お忙しい中僕のインタビューに応じていただき、本当にありがとうございます！これからもよろしくお願ひします。

【ぽぽぽ動物病院】 院長:松川恵 先生 飯山市蓮241  
診療時間:(月)-(金) 9:00~12:00・15:00~18:00 電話:0269-67-0490